



11/7 (日) 市民会館 民話の祭典

民話の語りを楽しむ

地元総社や県内の団体だけでなく、山形、千葉、東京、大阪、島根、鳥取などからも参加があり、16の民話の伝承グループが総社に集う。地域色豊かな民話や伝承を、語りをはじめ、紙芝居やパネルシアター、劇などで披露。サブテーマは「桃太郎と鬼のふるさとで語りの輪を」。「岡山の桃太郎」や、「新本の義民」を題材にし地元小学生が演じる劇もある。



昨年開催の民話の祭典(プレ大会)



10/30 (土) - 11/7 (日) きびじアリーナ 美術展「日本画」

全国公募で、優秀作品を展示

ここが見どころ!

第8回雪舟の里総社墨彩画公募展の入選作品展を同時開催するため、壮大なスケールで「美」を存分に楽しめる

全国公募された作品のなかから日本画の優秀作品を展示。審査には、「雪舟の里総社 墨彩画公募展」の審査員でもある上村淳之さんや中野嘉之さんらがあたる。

作品の公募は日本画のほか、洋画、書、写真、彫刻、工芸、陶芸部門でも行われ、応募期限(応募料の納期)は、8月20日(金)。詳しくは、<http://okayama-kokubunsai.jp/168/419/69.html>まで。



展示会場になるきびじアリーナ

ここが見どころ!

「たたく面の直径が2mもある大太鼓が会場に来るので、たたいてみたい。また、プロの演奏も楽しみの一つ」と、企画委員長塩尻司さん(総社三丁目)は話す

ここが見どころ!

「語りを楽しむポイントは、語られる民話の情景を思い浮かべながら、想像力をかきたてながら聞くこと」と、企画委員長立石憲利さん(井尻野)は話す



立石憲利さん

国民文化祭だ

総社で開催される
4つのイベントを紹介

ニ特集

国民文化祭は、日ごろの文化活動の成果を全国規模で発表し、競演し、交流する日本最大の文化の祭典。今秋、県下全市町村を会場に「第25回国民文化祭 おかやま2010」が開催されます。総社で開催する美術展「日本画」、和太鼓の競演、シンポジウム「古代吉備の風景」、民話の祭典の4イベントを紹介します。



鬼ノ城の西門

11/3 (祝) 市民会館 シンポジウム「古代吉備の風景」

視点を換え、古代吉備を考える

造山古墳や作山古墳といった巨大古墳や古代山城の鬼ノ城、大規模な製鉄遺跡がある吉備。シンポジウムでは、朝鮮半島との強いつながりがうかがえる古代吉備の原風景にせまる。基調講演は、京都大学名誉教授の上田正昭さん。パネルディスカッションでは、民俗学者の神崎宣武さんがコーディネーターを務め、4人のパネラーが吉備の古代史をさまざまな視点から意見交換を行う。

ここが見どころ!

「古代吉備は、ずっといつまでも謎。今回は、朝鮮半島側から吉備をみるということにポイントをおいて、古代吉備を描いてみたい」と、コーディネーターの神崎宣武さんは話す。

10/30 (土) - 31 (日) 市民会館

和太鼓の競演 和太鼓の勇壮な響きを堪能

「鬼が集うぼっけえ國 吉備!!」をサブテーマに開催。31日には、全国から集まった鬼が迫力ある和太鼓の演奏を行う。市民会館のステージには、2日間で県内外の38団体と「GONNA(ガナ)」と「志多ら」の2つのプロが参加。屋外ステージでは、子どもや障がい児など14団体が演奏を披露する。来場者が大太鼓をたたけるワークショップも開催します。



問い合わせ
第25回国民文化祭総社市実行委員会事務局
(☎93-5911、総合文化センター内)